

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東大

上場会社名 コンドーテック株式会社
 コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 菅原 昭
 (氏名) 安藤 朋也

TEL 06-6582-8441

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,430	5.4	498	22.8	518	21.6	303	33.2
24年3月期第1四半期	8,945	13.7	405	—	426	659.8	228	32.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 251百万円 (31.7%) 24年3月期第1四半期 190百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	11.73	—
24年3月期第1四半期	8.80	—

(注) 当社は、平成24年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	27,128	15,180	56.0
24年3月期	28,403	15,097	53.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 15,180百万円 24年3月期 15,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	14.00	—	6.50	—
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.50	—	7.00	13.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 平成24年3月期第2四半期末の配当は、平成24年1月1日付の株式分割(1株を2株に分割)を考慮しておりません。詳細につきましては、次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。
 2. 平成24年3月期の第2四半期末の配当14円には、東京証券取引所及び大阪証券取引所市場第一部指定記念配当1円が含まれております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,643	5.6	1,034	14.8	1,064	13.3	594	15.9	22.94
通期	40,300	4.0	2,206	14.5	2,279	12.9	1,273	21.7	49.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	27,057,000 株	24年3月期	27,057,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,134,753 株	24年3月期	1,134,633 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	25,922,258 株	24年3月期1Q	25,922,558 株

(注)当社は、平成24年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成24年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の配当状況につきましては、以下のとおりとなります。

基準日:平成24年3月期 第2四半期末 7円00銭 期末 6円50銭 年間合計 13円50銭
基準日:平成25年3月期(予想) 第2四半期末 6円50銭 期末 7円00銭 年間合計 13円50銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の金融危機や円高の長期化、電力供給の制約など懸念すべき問題も多くありましたが、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金等の政策効果もあり、公共投資と個人消費が内需をけん引し、緩やかな回復基調で推移しております。

当社グループ関連業界におきましても、震災の復興を中心に公共投資の増加に加え、新設住宅着工戸数や設備投資も緩やかに持ち直してきております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,430百万円(前年同期比5.4%増)となりました。利益面につきましては、復興需要による売上増と販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は498百万円(同22.8%増)、経常利益は518百万円(同21.6%増)、四半期純利益は303百万円(同33.2%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<産業資材>

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給している当セグメントは、港湾・土木を中心に震災復興向け資材の受注や、仮設足場部材等の需要の高まりもあり、当セグメントの売上高は6,026百万円(前年同期比12.3%増)となりました。また、復興需要による売上増と販売費及び一般管理費の削減により、セグメント利益は406百万円(同43.3%増)と大幅に拡大しました。

<鉄構資材>

推定鉄骨需要量は若干の回復基調で推移する状況で、学校施設など耐震補強工事の需要の増加はあったものの、前期の応急仮設住宅向けのターンバックル・ブレースやその関連部材などの特需の反動減により、当セグメントの売上高は1,882百万円(前年同期比9.6%減)となりました。また、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減により、セグメント利益は78百万円(同5.4%減)と小幅な減少に押しとどまりました。

<電設資材>

着工建築物及び設備投資需要は一部持ち直しの動きは見られるものの、依然として低水準で推移していますが、住宅関連需要及び太陽光発電などの省エネ・環境関連需要を積極的に取込んだ結果、当セグメントの売上高は1,522百万円(前年同期比1.8%増)となりました。また、受注競争の激化により売上総利益率は低下したものの販売費及び一般管理費の削減により、セグメント利益は8百万円(前年同期はセグメント損失3百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(28,403百万円)と比較して1,274百万円減少し、27,128百万円となりました。これは、法人税等及び剰余金の配当の支払い等による現金及び預金の減少、売上債権及び繰延税金資産の減少等を主因として、流動資産が1,215百万円減少したこと等によります。

負債合計は、前連結会計年度末(13,305百万円)と比較して1,356百万円減少し、11,948百万円となりました。これは、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少等を主因として、流動負債が1,330百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末(15,097百万円)と比較して82百万円増加し、15,180百万円となりました。これは、四半期純利益303百万円による増加があったものの、剰余金の配当168百万円の支払いによる減少、投資有価証券等の時価評価に起因したその他の包括利益累計額(借方)52百万円の増加があったこと等によります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(53.2%)比、2.8ポイント改善し56.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想におきましては、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,790,171	2,297,491
受取手形及び売掛金	11,214,378	10,575,685
商品及び製品	2,198,238	2,266,692
仕掛品	121,134	129,633
原材料及び貯蔵品	351,057	344,171
その他	1,915,280	1,745,197
貸倒引当金	△61,923	△45,691
流動資産合計	18,528,337	17,313,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,094,400	2,061,450
土地	5,752,189	5,752,057
その他（純額）	579,237	639,009
有形固定資産合計	8,425,826	8,452,516
無形固定資産		
のれん	183,700	168,391
その他	194,762	189,361
無形固定資産合計	378,462	357,752
投資その他の資産		
その他	1,180,165	1,112,328
貸倒引当金	△109,593	△106,858
投資その他の資産合計	1,070,572	1,005,469
固定資産合計	9,874,861	9,815,739
資産合計	28,403,198	27,128,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,098,435	4,570,116
短期借入金	700,000	700,000
未払金	4,009,808	3,914,725
未払法人税等	591,476	48,928
賞与引当金	460,905	198,315
販売促進引当金	—	2,108
その他	690,610	786,805
流動負債合計	11,551,235	10,220,999
固定負債		
退職給付引当金	1,197,460	1,177,411
役員退職慰労引当金	271,820	274,461
その他	285,282	276,038
固定負債合計	1,754,562	1,727,910
負債合計	13,305,798	11,948,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,328,100	2,328,100
資本剰余金	2,096,170	2,096,170
利益剰余金	12,325,230	12,460,703
自己株式	△498,553	△498,631
株主資本合計	16,250,946	16,386,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377,763	334,787
繰延ヘッジ損益	8,258	△1,550
土地再評価差額金	△1,539,569	△1,539,569
その他の包括利益累計額合計	△1,153,547	△1,206,332
純資産合計	15,097,399	15,180,009
負債純資産合計	28,403,198	27,128,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	8,945,062	9,430,925
売上原価	6,964,412	7,369,145
売上総利益	1,980,649	2,061,780
販売費及び一般管理費	1,575,151	1,563,751
営業利益	405,497	498,029
営業外収益		
受取利息	215	3,129
受取配当金	1,080	1,051
仕入割引	28,603	28,536
雑収入	9,461	6,877
営業外収益合計	39,361	39,595
営業外費用		
売上割引	13,338	12,168
支払利息	676	558
雑損失	4,187	6,068
営業外費用合計	18,202	18,795
経常利益	426,656	518,829
特別利益		
固定資産売却益	77	99
特別利益合計	77	99
特別損失		
固定資産除却損	190	73
特別損失合計	190	73
税金等調整前四半期純利益	426,543	518,855
法人税、住民税及び事業税	89,701	43,037
法人税等調整額	108,693	171,849
法人税等合計	198,395	214,887
少数株主損益調整前四半期純利益	228,148	303,968
四半期純利益	228,148	303,968

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	228,148	303,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,272	△42,975
繰延ヘッジ損益	△11,088	△9,809
その他の包括利益合計	△37,361	△52,785
四半期包括利益	190,786	251,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,786	251,183
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,368,043	2,082,253	1,494,765	8,945,062	-	8,945,062
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	71,222	18,300	23,837	113,359	△113,359	-
計	5,439,265	2,100,553	1,518,602	9,058,421	△113,359	8,945,062
セグメント利益又は損失(△)	284,001	82,763	△3,549	363,216	42,281	405,497

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額42,281千円には、のれんの償却額△15,308千円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	6,026,412	1,882,131	1,522,381	9,430,925	-	9,430,925
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	57,255	16,814	9,107	83,177	△83,177	-
計	6,083,667	1,898,946	1,531,489	9,514,103	△83,177	9,430,925
セグメント利益又は損失(△)(注3)	406,852	78,299	8,973	494,125	3,903	498,029

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額3,903千円には、のれんの償却額△15,308千円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3.会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失(△)に与える影響は軽微であります。